

平成22年度榛原地区
北地域小学校音楽発表会
かわねほんちよう

議会だより

第20号

平成22年11月発行

発行/川根本町議会
編集/議会だより
編集委員会

もくじ

- 9月定例会報告
・ 決算特別委員会報告…………… 2～3
- 一般質問…………… 4～10
- 中国視察訪問報告…………… 11～13
- 議会日誌・編集後記…………… 14

10月7日に開催された「平成22年度榛原地区北地域
小学校音楽発表会」(文化会館にて本川根小児童の演奏)



9月議会報告(8日～22日)

第3回定例会が9月8日開会され、提出された22議案中7議案と条例4件、同意案件1件、認定案件1件が初日に可決されました。9月22日(最終日)決算特別委員会に付託された認定案件8件、議案1件も原案通り可決しました。

条例関係

①川根本町地域振興基金の一部改正
 補正額 1億755千円
 補正後の総額 10億2千2百607千円
 (財源校正)
 全員賛成で可決

②川根本町職員の給与に関する条例の一部改正
 補正額 9億8千7百918千円
 全員賛成で可決

③川根本町営バス条例の一部改正
 補正額 939千円
 補正後の総額 2億2百369千円
 全員賛成で可決

④川根本町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
 補正額 1億194千円
 補正後の総額 4億1千1百794千円
 全員賛成で可決

補正予算

◎一般会計(第2号)
 補正額 7千6百179千円
 補正後の総額 53億7百925千円
 賛成多数で可決

◎国民健康保険事業特別会計(第2号)
 補正額 1億2千2百607千円
 補正後の総額 10億2千2百607千円
 全員賛成で可決

◎簡易水道特別会計(第1号)
 補正額 1億194千円
 補正後の総額 4億1千1百794千円
 全員賛成で可決

◎温泉水事業特別会計(第2号)
 補正額 1億194千円
 補正後の総額 4億1千1百794千円
 賛成多数で可決

◎国民健康保険特別会計歳入歳出決算
 歳入 10億3千689万2千411円
 歳出 9億3千582万8千121円
 差引 1億106万4千290円
 歳入 595万5千385円
 歳出 595万5千385円
 差引 0円
 全員賛成で認定

◎温泉水事業特別会計歳入歳出決算
 歳入 1億2千2百607千円
 歳出 2億2千453万9千743円
 差引 601万9千700円
 全員賛成で認定

◎川根本町過疎地域自立促進計画の策定について
 平成22～27年度の6年間の計画について質疑討論が行われた。
 賛成多数で可決

決算関係

◎一般会計歳入歳出決算
 歳入 65億756万3千803円
 歳出 58億3千526万4千476円
 差引 6億7千229万9千327円
 賛成多数で可決

◎国民健康保険特別会計歳入歳出決算
 歳入 10億3千689万2千411円
 歳出 9億3千582万8千121円
 差引 1億106万4千290円
 歳入 595万5千385円
 歳出 595万5千385円
 差引 0円
 全員賛成で認定

◎温泉水事業特別会計歳入歳出決算
 歳入 1億2千2百607千円
 歳出 2億2千453万9千743円
 差引 601万9千700円
 全員賛成で認定

◎川根本町過疎地域自立促進計画の策定について
 平成22～27年度の6年間の計画について質疑討論が行われた。
 賛成多数で可決

人事関係

◎固定資産評価審査委員会委員の選任について
 掘畑 肇氏(下泉)再任

◎川根本町過疎地域自立促進計画の策定について
 平成22～27年度の6年間の計画について質疑討論が行われた。
 賛成多数で可決

◎川根本町過疎地域自立促進計画の策定について
 平成22～27年度の6年間の計画について質疑討論が行われた。
 賛成多数で可決

◎川根本町過疎地域自立促進計画の策定について
 平成22～27年度の6年間の計画について質疑討論が行われた。
 賛成多数で可決

◎川根本町過疎地域自立促進計画の策定について
 平成22～27年度の6年間の計画について質疑討論が行われた。
 賛成多数で可決

その他



地名簡水

決算特別委員会報告

委員長 中田 隆 幸

本定例会で平成21年度川根本町会計決算認定について、決算特別委員会に付託され、9月8日、9日、10日、13日、14日、16日の6日間審査が行われ、い

【一般会計】

（建設課）

国道362バイパス建設促進期成同盟会の今後について質問があり、浜松との期成同盟は昨年の政権交代で要望活動の進め方に問題があり、今年は立ち上げが延期になった。今後話し合えてできれば立ち上げていきたいと思っていると回答があった。

（福祉課）

報償費減理由について質問があり、敬老会記念品代の選定（肖像画置時計）による減と回答があった。

（生涯学習課）

町営グラウンド管理の見積もりについて質問があり、資料で説明がされた。各地区の芝グラウンドの管理で芝刈り機が欲しいという要望は多い。地域コミュニケーションの中で必要ならば、今後、組み入れ

ていきたい。

（議会事務局）

議会運営に関する費用で予算額との差は主に議員改選による人数減であると説明があった。

（出納室）

基金管理について満期になった基金はどうするかと質問があり。資金管理委員会に諮って意見を求め、総務課で管理するとの回答があった。

（教育総務課）

アスベスト含有検査について質問があり、町内学校には無いとの回答があった。

（企画課）

町ホームページの閲覧人数11万4千703人は延べ人数かとの質問があり、当町役場からのアクセスを抜いた延べ人数ですと説明があった。

（総務課）

町長、町議会議員選挙の投票所は増やせるかの質問があり、選挙管理委員会が定めること

との説明があった。

（商工観光課）

町内商工業の状況について報告があった。8月商工会報告によると食料品は長雨の影響で仕入れが高く採算が悪化、自動車産業は現状ほぼ回復したが、9月以降見通しで下降する事が予想される。土木建設業は緊急雇用対策で工事発注があるが全体的に厳しい。建築業リフォーム補助金枠が全部消化するなどある程度明るい材料もあるが、依然厳しい。衣料品は個人消費が伸びず低調。耐久消費材が例年になく猛暑でエアコン需要が伸びた。地デジ等の単価が下がっており売上額を下げている。旅館は猛暑や高速料金の値下げ・無料化の影響で売り上げがダウン、8月も小規模店を中心に大きく落ち込んでいる。との説明があった。

（産業課）

菌床しいたけ生産状況について質問があり、しいたけの販売（1～3月）で2万1千700キロ、菌床生産（2～5月）は10万6千玉で、農協とイオンへ出しているとの説明があった。また、雇用は増えているとのことであった。

（税務課）

農業だけでなく商業をやっている人も経済状況が大変だということを知りたい。督促に行つたときに支援策の情報提供（減免制度、就学援助制度など）をするよう要望があった。

（生活健康課）

へき地患者輸送車運行委託料について質問があり、その地区の中心地から4キロ以内で概ね50人以上で公共交通機関がない地区が対象であり、シルバー人材センターへの委託分（月2回・燃料代、維

持管理費等も含む）であるとの説明があった。間の見込みで拠出し、高額療養費へ補填するとの説明があった。

【特別会計】

（簡易水道事業）

水道使用料が増えていくかとの質問があり、人口減や節水型家電品の普及などで減っているとの回答があった。

（介護保険事業）

在宅サービスが増えていくか、今後町で充足できるかとの質問があり、現計画で小規模多機能型受託介護施設1箇所の整備計画をあげ、在宅サービスの必要性については次期計画策定時に検討していくとの回答があった。

（温泉事業）

修繕料114万5千340円の内容について質問があり、小飛龍橋温泉管添架用添架台とガス抜き装置分であるとの回答があった。

（国民健康保険事業）

拠出金については3年



文化会館屋根工事



小藪侃一郎議員

- 中国等販路開拓の迷走と今後の展開は
- 茶と観光と商工業波及効果のある事業に
- 県訪中団と竜泉市友好推進事業について
- 町通信整備事業はまだまだ検討余地あり

問

質問 町長トップダウン事業の中国等販路拡大は八月に国内に変更すると説明し、九月議会で提案を取り下げた理由を伺う。

町長 関係団体との調整、詰めの甘さがあり、焦りから十分に精査されないままの状態では成功しないと判断し、提案を取り下げた。

質問 六月に立ち上げたプロジェクト本部長は自信と責任を持って町長に提案したのか。

副町長 内容には自信を持って提案した、ただ調整等が非常に不足している一抔の不安を持ちながら提案した。

質問 外国から国内に移行したことは評価しますが、地に足が着いた事業、お茶や観光を中心に商工業に波及効果があるような施策にすべきと考えます、対応を伺います。

町長 計画を練っていく過程で具体的に関係

者に参画をいただいていたという反省点がありますが、皆様のご理解が得られる計画を作っていくたいと思っております。

質問 中国行きの航空便の旅費等中国等関連のお金で東京都内で調査する、実行行為が違う訳で、新たに補正予算でやるべきだ、伺う。

町長 確かに当初は中国等の一千万円でした。その内五百万円を国内で、残りは海外の市場を求めていく話でありますのでいいと思う。

質問 県のふじのくに友好訪中団に佐藤町長、板谷・山本議員が参加しますが、当然竜泉市を訪問すると思うが、訪中について伺う。

町長 歓迎宴で竜泉の方と話し合う機会があると思うが、特に竜泉市を訪れる考えは有りません。

質問 今度の訪中団に13市町参加し、静岡市



34名公費負担なしなど公費ゼロ5市、半分公費1市あります、酒席の顔合わせで税金負担を住民にどのように説明されるか、伺います。

町長 歓迎会で竜泉の方と会い、観光を主要産業としている本町にとって観光の視察は研修になり、当然公費負担は問題ないと思う。

質問 情報通信基盤整備事業の説明会を各地区で開き多様な意見があります、反応をどのように感じるか伺う。

町長 昨今の地域の現状を見た時、なかなか隣近所にも顔を出さない例が増えてきていると思う、それを補完する意図があります。

町長 説明会出席者が一割に満たない状況ですので再度意向調査を進めていきたいと思っております。

質問 問題意識を持つ四人で同じ様なシステムのある山梨県道志村に聞き取り調査に行きました結果は「要らない」が約63%で否定的でありました。町ではまだまだ検討する必要があります。

- 詰めの甘さ是否定できない精査して再度提案する
- 関係者等に理解が得られる具体的な計画を作る
- 今回竜泉市は訪問しない、公費訪中は問題ない
- 意向調査もして、最も良い方法を考えていきたい

答

町長 基本設計と詳細設計と二段階ということで基本設計が終わり、説明会を行っている、今後意向調査もおこないい、皆様の反対を押し切って進めるものではないと思っております。



市川昌美議員

問

○説明会での住民の反応は大変きびしいが

質問 ブロードバンド整備事業は、本町にとつて今現在必要不可欠な事業なのか。各説明会での住民の反応、反発、事業の優先順位もさることながら、過去の失敗の反省も踏まえて撤回すべきではないか。

町長 昨年度実施したアンケートでも、個人では51%、事業者では79%の方が光ファイバーの整備を推進すべきと答えています。説明会においては一部の住民の方が、特にテレビ電話機能付きの告知放送端末について批判的なご意見もございましたが、まだ説明会を開催していない地区もござい

ますので、できる限り多くの住民の方のご意見を伺っていきたく思っております。

質問 県の補助金があるのか。

企画課長 補助金については21年度で終了と言う形でありますので、利用できない状況です。

質問 町長は先ほど、わずかな人間が反対しているとの答弁でしたが、とんでもない話ですよ。おそらく任意加入だったら、半分も加入しないでしょう。どうしますか。

町長 先ほど一部の方と申し上げました。説明会等その都度の内容については一応報告を受けておりますので、かなり厳しいご意見をいただいたていることは存じております。これから、今継続している説明会を行いますし、住民の皆様の一々としたご意見をもう一度確認するという意味で、意向調査も考えております。

質問 アンケートも2

回やりましたけれども、これ、マインド・コントロールですね。様式が違うし、質問の内容が違う。これでは一般の住民ではわからない。業者委託が多すぎます。住民にわかりやすい内容でなければ、何回やっても同じですよ。

町長 委託の関係は、意向調査も含めて委託



ブロードバンド事業住民説明会



ケーブルテレビ局の様子（北海道伊達市大滝区）

してございますので、その中で当然町としての考えも入れながら調査を行っていくということでもあります。

それから、今回これから行おうとしております意向調査については、一応全戸にお願いするという予定であります。

答

○説明会を最後まで続けて次のステップへ



原田全修議員

- 時代に沿うブロードバンド環境整備とすべき
- 設備更新の時期、費用は？収支は成り立つか
- 同報無線の戸別受信機と告知端末機が必要か

問

質問 川根本町のブロードバンド環境は、昨年度末には携帯電話の不感地域解消と同時に町内どこでも無線ブロードバンドでの高速インターネットが可能となった。都市部でサービスが開始される3.9世代携帯電話超高速無線ブロードバンドは、平成26年には全国展開をする方向が出された。若者が最もこれから関心を持っていくだろうという移動体通信システムである。国としては平成27年を目標に、超高速無線ブロードバンドと光ケーブルを併用した「光の道構想」で、全国全ての家庭で超高速インターネットサービスが受けられるようにする計画をしている。このような中で町が独自に計画するテレビ電話兼告知端末機を家庭に設置し光ケーブルで接続する方式は、1年前に同じシステムを導入した山梨県の道志村の住民の62%の人がこのようなものは不要とする回答をしている。

町長 コンサル等のご意見も伺う中で川根本町にとって一番良い方式のシステムだということでもまず住民説明会を開いている。次の世代も含めて使っていくツールとなるわけであるから今後、住民の意向調査をやり、議会と議論していく中でよい方法を考えていかなければならない。

質問 住民説明会では、議会が承知していない発言や資料を配布しているようだが、政策誘導的であり問題である。

町長 議会では、FTTH（全家庭に光ケーブルを入れる）については問題があるが、主要な部分については光ケーブルを敷設すると



各家庭に同報無線の戸別受信機(右)と告知端末機(左)の両方を置く必要があるか？

いう考えでご理解を頂いていると思っている。議論は不十分だ。施設の耐用年数については、同様な設備のケースで光ケーブルは20年、機械設備は6年という回答がされた。ブロードバンド事業費16.6億円のうち5.2億円が機械設備であるが、この施設の設備更新はいつ、どの位の事業費を見込んでいるのか。6年毎の機械設備の更新を想定し

た時、財源の確保ができるか。

企画課長 今お答えする中では、まだそこまです算はしていない。早急にやるということでいきたい。

質問 行政防災無線の設備更新事業として平成27年度までに約10億円の事業が計画されており、この事業の中で同報無線の難聴対策として町内3割の戸別受信機未設置の世帯に受信機が設置される計画である。一方、この16.6億円のブロードバンド基盤整備事業でも告知端末機で同報無線の難聴対策を行う(町長、企画課長の答弁)こととしており、同報戸別受信機と告知端末機の2セットが各家庭に配備されることになる。二つの事業で約26億円の負担として約3割の8億円がのしかかってくるということにな

るが違いはないか。本日は大きな課題3点を伺った。

副町長 同報無線の戸別受信機の未整備のところは今後の課題である。FMラジオの周波数対応を調整することなどでカバーすることを考えている。

答

- 住民の意向調査、議会と議論し良い方法を考える
- そこまで計算はしていない。早急に検討をしたい
- 戸別受信機の未整備のところは今後の課題である



太田侑孝議員

問

- 4年半を経過した行革の成果と、次期行革の取り組みについて
- 耕作放棄茶園の対応策について
- 小中学校の教育方針と複式学級について

質問 行政改革は平成18年から22年度迄の5カ年計画です。4年半の行革成果と次期行革について伺う。

町長 18年度当初の職員数185人が22年度には158人で27の減、行革効果額では21年度目標額1億800万円に対し、実績は2億700万円です。

次に直営6施設の運営改善の状況は、文化会館は、今迄の自主事業・買取り公演の開催方法を、23年度から事業パートナーを導入して事業推進すべく取り組んでいます。

BG海洋センターは、社会体育施設の機能に保健・福祉施設の機能を加えての改善を進め、幼児、成人・中高年運動教室等が実施されています。農林業センターは、地域の農業振興に果たしてきた施設の役割が広く町民の理解が得られるよう町の

広報とホームページ等で事業内容の広報を推進しています。資料館やまびこは、施設の経緯から地元関係者との協議を進めてきました。が、具体的方針の決定には至っておりません。音戯の郷は、現状のままの継続は困難で、施設の設置目的及び機能の再設計が必要であり本年度以降新たな構想計画を作成の予定です。茶茗館は、答申を受けて施設の活用を関係者で検討中ですが、方向性の決定には至っておりません。

今後の行革の取り組みは、行政評価外部評価の充実、集中改革プラン各項目の目標達成の為に、町として自主的、主体的に行革を推進していきます。

質問 茶産業の低迷と高齢化により耕作放棄茶園の増加は深刻な問題となりつつあります。



放棄茶園

従来の農地貸借による耕作放棄地補助策では対応しきれないので、放棄茶園について迅速かつ適切な対応策を。

町長 町内の耕作放棄地は28ha・約600筆を確認、21年度の放棄地再生実績は2ヶ所・30a。22年度は1ヶ所34aの予定で相談中が4ヶ所です。放棄茶園の再生をなんとか図っていきたいが、茶園として継続する担い手や所有者の考え、また転換作物

等々の事があります。大変切実な問題と認識しております。

質問 農政推進員とは。

産業課長 地区の農業関係全般について、また放棄地も含めてご協力頂き、協議して頂く委員です。

質問 地区協議会とは。

産業課長 放棄地再生利用事業で地区の協議会を設置すれば、定額で最大20万円の補助金が受けられます。長期的に放棄地をなくすには、地区で協議会を設置するのが一番の方法と思います。

質問 小中学校の教育方針と複式学級編成の対応について。

町長 学ぶ力と豊かな知力の育成、豊かな心と言葉の育成、健康な体と強い意志の育成、信頼される学校づくりを挙げております。

教育総務課長 南部小が来年度から複式学級

になることで、榛原地区では唯一複式の片浜小学校へ校長・父兄で視察し、また島田市の相賀小へも視察を予定して対応を進めています。

答

- 行革の効果額は、22年度約2億700万円
- 職員数は22年度当初で158人、27人の減
- 放棄茶園の再生を何とか図って行きたい
- 南部小の関係者の皆様でしっかり議論を



中澤智義議員

○千頭温泉事業着手の背景

○千頭温泉の概要

○千頭温泉の今後

問

質問 千頭温泉事業の経緯と概要を伺う。

町長 千頭・小長井地区町民と商工会の要望があり、平成6年、温泉調査が開始され事業がスタートしました。平成11年、配湯を開始、平成14年には故障によるポンプ取替えを、平成21年、揚湯量が減少したのでポンプ入替工事を行い、4ヶ月で故障して現在に至っています。千頭温泉は温泉受益者だけではなく、周辺地区の活性化を図り、周辺商店や飲食店の波及効果は大きいものがあり、活性化には必要不可欠な施設と考えています。

町長 千頭温泉開湯以来、財政に負担をかける度合いが大きくなりました。平成14年にポンプ取替に254万円程、平成21年には493万円程、現在までに3億7千160万円程かかっています。

質問 平成22年、故障の為に調査費224万6千円、温泉運搬費192万6千円をかけて事故調査をしたが、その結果は、

町長 千頭温泉開湯以来、財政に負担をかける度合いが大きくなりました。平成14年にポンプ取替に254万円程、平成21年には493万円程、現在までに3億7千160万円程かかっています。

町長 千頭温泉開湯以来、財政に負担をかける度合いが大きくなりました。平成14年にポンプ取替に254万円程、平成21年には493万円程、現在までに3億7千160万円程かかっています。

町長 当初のつもりからみると、必ずしも期待した効果は上がっていないことと認めざるを得ない。今回はポンプを付けて供給できる体制にして、再び財政負担をかける状態になつたら、関係者と話し合う中で供給も廃止せざるを得ない、そういう状況も想定し対応していきます。

質問 温泉に係る費用は、国県は一銭も面倒みてくれませんか。他の活性化の事業なら、国県が7割も助成してく



千頭温泉源泉

れる制度が多い。千頭温泉に頼らない周辺地区の活性化を今から対策を考え、千頭温泉は、これ以上の財政負担は認めない事を腹に据えていきたいと考えているが、町長の考えを確認します。

町長 そういう覚悟で進めてまいります。よろしく願います。

- 千頭周辺活性化要望事業
- 平成21年度まで3億7,160万円
- 供給廃止も想定し事業を進める

答



鈴木多津枝議員

問

- 各種減免・就学援助の活用を
- 官行造林の購入を中止し、国へ適正管理要望を
- 旧東海パルプ地名発電所は町の責任で保存を

質問 各種滞納者の所得状況と減免・就学援助の活用を。①住民税非課税や生活保護基準以下の割合は？②減免適用状況は？③減免の所得基準創設を。④給食費滞納者の所得が就学援助対象となる割合は？⑤対象を生活保護基準の1.3倍から1.5倍に上げた場合の割合は？⑥他市町より低い適用率の引き上げと周知徹底を。

町長 ①各種税滞納額合計が40万円以上は50世帯。内、住民税非課税9世帯。所得0円6世帯、100万円以下9世帯、200万円17世帯、500万円12世帯、500万円以上6世帯。介護保険料滞納は50人。内、住民税非課税は27人。②非自発的失業者（解雇された人）10名から国保税の減免申請があり、所得割があった2名適用、8名は所得割が無く適用外に。③減免は所得も蓄えもない者に行うもの。所得だけの一律減免は考えていない。④基準以下は50%⑤75%に増える。⑥減免は納期限7日前の申請必要。納期限後の相談が多く、生活困窮者は執行停止や不納欠損で救済する。今後も広報などで周知を図る。



笑顔こぼれる給食風景

質問 官行造林の権利購入中止を。共産党国會議員にも国は購入強制も義務付けもしていないと回答。町は町有林と一体的に管理するためと理由を変えて購入に固執する理由は何か？実勢とかけ離れた高額な材価の見直しをどのように協議したか。

町長 国への働きかけ有り難しく思っている。購入しない場合、国が適正な管理をしないことや流域全体の治山治水事業が実施できず、水源涵養保安林としての機能や国土保全機能が維持できず大規模災害につながる恐れも。無償譲渡の要望は毎年県町村会を通じ行っており、官行造林地内の管理も要望を続けたい。



解体の時迫る旧地名発電所

質問 築100年の旧東海パルプ地名発電所を町の責任で保存を。町は貴重な文化財と認め、6月議会で町長は今の時代、黙って壊すのを見ていることはできない。情報収集に当たってみたいと答えた。その後の経過を問う。

町長 今年5月に解体工事開始をマスコミが取り上げたことで、県内外から存続を求める多くの声が上がリ、危険な屋根部分を撤去して工事は中止やむなきに至っている。町は教育委員会や生涯学習課で現地確認を行い、文化財保護審議委員会を開き報告、検討した結果、とても町の文化財に指定して保存できる状態ではなく解体やむなきの判断が示され、所有者地名振興会の解体方針を重く受け止めることとした。100年もの歴史を刻む貴重な産業遺産が解体されるに至った経緯や事実を重

く受け止め、今後の文化財保護行政の貴重な財産としたい。

答

- 今後も広報などで周知を図る
- 無償譲渡・管理要望続けたい
- 解体やむなきの結論尊重する



高畑雅一議員

問 ○地域産業の再生

質問 日本経済の悪化の影響をうけて、私たち町においても地域住民の多くがこの数年、何の景気回復の実感もなく、地域産業もかつてない厳しい現状の中家計のやりくりに苦しんでいる今、地域産業の立て直しに当たらないてはならない。この課題についてどう対応するのか方向性、姿勢を町長にお伺いします。

町長 茶業振興策

明快で鮮明なブランドイメージの構築、个性的な商品戦略、異業種との連携を進めていく、今一つブランドとして認知度の低い川根茶のブランド力を高めていくかということであり、全国茶品評会で日本一に輝く成績を上げることで、川根茶の思いやりをアピールする事業、商品開発と流通経路の確立

のたための商品PR事業を図るなど、消費者が求めるお茶の産地としてのブランド化を目指し、業界や関係団体との協力を求めながら今後とも積極的に取り組んで行きたい。

茶業は町の農業基盤というだけでなく、国土保全や景観形成など多面的な役割を担い、川根本町においては極めて重要な地域資源である。



全国品評会茶園

町長 林業振興策

森林組合では集材と造材のための高性能林業機械を導入しており簡易な森林作業道の整備も進んでいます。

林業で安定的な収入を得ることが出来る林業家は非常に少ないが、森林組合を中心として小規模森林の集約化が始まっていることから自主生産林家にも生産計画を立ててもらい、保育から生産へとシフトしていき、在庫状態になっている立木を換金していき、所得を確保していくための支援をして行く。



製材所



商店街

町長 商工観光振興策 高齢化率が40%を超えた本町にあつては、食料品や日用品などの最寄り品は近周りの商店で買い求めることができる環境を維持していかねければならない。プレミアムつきお買い物券発行事業、住宅リフォーム補助金事業、売れるものづくり事業補助金事業等を行って行く。

宿泊地としての寸又温泉の再生、周辺地域の接岨峡温泉、千頭温

答 ○地域の元気再生を目指す

泉、奥泉もりのくに等地元観光協会、商工会とも連携を取りながらさまざまなイベント活動や営業活動を展開して行きたい。



中国竜泉市表敬訪問 友好へ

中 澤 智 義

8月18～19日川根本町が友好都市として提携する浙江省竜泉市へ表敬訪問して来ました。竜泉市は、山間地に開かれた都市で、交通の便の悪さもあって、海岸部に対し10年遅れていると感じました。車も少なく庶民の足は、自転車、オートバイ、輪タク等で住民は豊かでないと感じられました。



地元TV局のインタビュー

市役所に着き、電光掲示板に「熱烈歓迎 日本川根本町代表团」で迎えられて、貴賓室に案内されました。名刺を交換し挨拶を交わした。竜泉市の高官は趙建林中央竜泉市書記、陳豪副市长、陳吉明人副主任、沙永龍市政府辦副主任、張獻珍外事辦副主任です。趙書記と高畑副議長が正面に着席して、私達出席者は対面で席に着きました。

趙書記より歓迎の言葉があり、竜泉市の紹介に入りました。竜泉市は山間地で生態環境は、中国でもトップクラスの地域で、農林産品の盛んな所である。さらに青磁の陶器、宝剣の製造文化歴史で名声をなしている。川根本町の日本一のお茶に青磁陶器をセットにして世界に出したら面白いではないかと挨拶がありました。

高畑副議長から返礼の挨拶となり、友好の会食が始まりました。各人と乾杯を交わし、一気に飲み乾す中国式酒宴に戸惑いながら和やかな雰囲気の中で会食が進み、食事の頃合をみて、お礼の言葉を述べ、終宴となりました。

翌日、出張で逢えなかった梁憶南市長が駆けつけて、朝食を共にしての会談となりました。市長は青磁、宝剣の生産販売は横ばいだが製造生産歴史文化遺産に登録されて、今から観光で期待が持てる。川根本町との友好交流で竜泉市の生産品の消費拡大に結びつくことを期待している。3年前、高速道路の開通や自動車部品工場の進出で、年30%の伸びで生産が発展している。川根本町との交流の中で、竜泉市でも出来ることはないか学び、経済の発展に役立つ事を期待していると述べました。私は早急な発展は難しい。特に宝剣は日本では武器凶器と見られ、政府の許可が必要で、個人で持つ事は不可能に近い。青磁も観賞用とは期待ができるが、日本にも有名な陶器があるので大量の消費には結びつかないと思うと返答しました。



市長室にて

こうした会談を通じ、竜泉市側は川根本町との友好関係で経済発展を期待している姿勢がはっきりと見受けられる。それは私達も望むところですが、民間人を含めての友好交流に発展し、成熟した信頼関係にならないと難しいと感じた表敬訪問でした。

上海万国博覧会静岡ウィーク出展

浙江省竜泉訪問 8月16日から20日



高畑雅一議員

8月16日
静岡空港

上海 浦東空港

8月17日
上海万国博覧会静岡ウィーク日本産業館にて公演
(立礼式 煎茶の一煎点前)



上海万国博覧会

8月18日
上海南駅

義鳥駅
専用車にて

浙江省 竜泉市
竜泉市役所(人民政政府)にて対談
竜泉中職校見学



竜泉市役所での対談

8月19日

①天和食品有限公司 椎茸栽培 販売会社
②竜泉青瓷寶牽劍苑 (竜泉市の主産業の刀剣作り、椎茸栽培会社を視察)



人間国宝による刀剣作り

8月20日
上海 浦東空港

静岡空港



椎茸会社 日本向け商品

上海万博において川根本町は、煎茶の美味しさを宣伝するため、清風流による煎茶道を紹介しました。町内在住の瀧澤先生に茶道をお願いし私たちスタッフ1名と中国人女性2名にするお茶を嗜む様子を披露しました。初めて茶道を経験した中国人女性は、

今までに味わったことのない美味しさだと絶賛していました。来場者は日本の茶道に大変関心を持った様子が窺われました。

2日間の竜泉市の主産業である刀剣作り、陶器作り(職業学校)椎茸栽培と販売を行っている食品会社等の視察を行い伝統ある技術を受け継いで行こうと勉強している若い職人学生達、そして新しい産業に取組んでいる企業が存在する町である。文化、伝統、物作り等日本とは違った思想が見受けられ、我々の常識との違いが感じられた。

また、竜泉青磁の茶器を用いて川根茶の消費拡大をしようとしている青磁茶器が、今回の視察で見受けられなかった事が残念であった。

川根本町が友好提携を考えている浙江省竜泉市の産業、文化、風土を視察するため、私、中澤議員、森下企画課長、スタッフ4人と共に竜泉市を視察、訪問しました。上海南駅から新幹線で義鳥駅へ、専用車で高速道路を利用して竜泉市まで移動中に一番感じたことは大変遠い、静岡県から竜泉市までにかかる時間を計算するとまる2日は要するであろう。上海市のきらびやかな市内に比べ車窓からは私たちが幼少期に見た景観や、それ以前の町並みも見受けられました。竜泉市役所において中共竜泉市委書記竜泉市人大常務委員会副主任、竜泉市人民政府副市長を含めた8名と対談を行った。お互いに市、町の紹介を行った。

静岡県友好訪中団

第三回公式訪問について

山本 信之

川勝知事は隣国の友好交流の一層の促進と静岡―上海路線の需要拡大のため、上海万国博覧会開催期間を中心

に、本県から浙江省は三七七六六人の規模の県民が訪中する「ふじのくに三七七六六友好訪中団」の第三回公式訪問団を派遣しました。

これは、川根本町にとつてプラスに作用するような交流にしていかなければなりません。当町は川根茶の拡大と観光面に力を注いでおります。静岡空港が開港されたことにより町民皆様と中国を訪れ、見聞を広め中国からも多くの人たちが、川根本町を訪れ、交流を図ることにより、町の活性化及び町の発展につ

あり、さらに、中国において投資環境と商業都市のトップにも選ばれ、国連人類住居賞・国際ガーデン都市・国際観光金星賞・中国最優秀観光都市などの多くの賞を受賞し、投資企業などに非常に適した場所である。杭州は猛スピードで発展を遂げている都市で、今も成長を続けている。時代は西湖から銭塘江へ移っている。杭州は着実かつ急速な発展で世界の注目を浴びています。静岡県浙江省経済フォーラムについては、訪問団全員の皆様と一堂に会して浙江省との交流を深めてきました。

杭州市は中国浙江省の省都である。中国八大古都の一つで、国家歴史文化名城に指定されています。杭州には、風雅な銭塘江があり、夢の楽園と言われている。世界銀行からも、中国の中で特に投資環境に優れていると評価されるこの都市は、経済発展の目覚ましい長江デルタの南に位置している。中国の十大経済都市に数えられるだけでなく、浙江省の政治、文化の中心でも

あり、さらに、中国において投資環境と商業都市のトップにも選ばれ、国連人類住居賞・国際ガーデン都市・国際観光金星賞・中国最優秀観光都市などの多くの賞を受賞し、投資企業などに非常に適した場所である。杭州は猛スピードで発展を遂げている都市で、今も成長を続けている。時代は西湖から銭塘江へ移っている。杭州は着実かつ急速な発展で世界の注目を浴びています。静岡県浙江省経済フォーラムについては、訪問団全員の皆様と一堂に会して浙江省との交流を深めてきました。

る取り組みと今後の課題
一、中国市場に対する取り組みと今後の課題

日本料理店を経営している、なすび株式会社の専務の基調講演を聴きました。
人の交流、その他文化の交流等、食を通じて人の心に訴えるものがあります。

舟山市、普陀山 視察について

舟山市は浙江省に属する地級市。浙江省の東北の東シナ海にある全一三九一個の島からなる舟山群島に置かれている。国家級風景名勝区として普陀山風景区、嵎泗列島風景名勝区が指定されている。中国四大仏教名山のひとつであるため、住民の間では仏教の勢力が強いが、道教が信仰されている。

上海市の視察について
かつての漁村が今、奇跡の経済発展を遂げ、外国企業が続々と進出している。

世界的金融センターを目指す浦東には、近未来都市が建設され市街地の再開発は止まることがない。街は大きく変化しているが、外灘の租界建築群は高級レストランなどレトロロ

は上海の顔となつている。そしてもう一つ、租界の荒波をよそに旧城で熟成し、発酵したかのような昔ながらの上海を忘れるわけにはいかない。様々な表情で旅の心をかき立てる。今回の訪中訪問では、

追記

板谷議長も随行しましたが、県議長会に報告書を出しましたので、山本議員の報告書に変えさせていただきます。

今後、友好を深めることによつて、観光・茶業・教育・文化・歴史等を通して町がより一層活性化し町の発展に生かしていきたいと思



議 会 日 誌

7月

- 3日 南アルプス寸又峡口山開き祈願祭
- 15日～16日 全国森林環境税創設促進議員連盟総会
- 20日 全員協議会
中学生海外英語研修壮行会
- 31日 文化協会・夏の演芸祭典



<中学生海外英語研修壮行会>



<R362馬路橋より馬路トンネル>

8月

- 10日 H22年度R362建設促進期成同盟会
- 11日 全員協議会
H22年度第2回川根本町温泉審議会
- 16～20日 上海万博・静岡ウイーク参加



<決算特別委員会現地調査>
(千頭駅前滝のトイレ)

9月

- 7～22日 9月議会定例会
- 7～15日 決算特別委員会
- 25日 第7回夜っぴとい神楽祭 接岨
- 28日 全員協議会
まちづくり基本条例策定委員会



<寸又峡和紙のあかり展>
銀賞「fiores」

10月

- 5日 五市二町議会議長連絡協議会議員研修
- 6～8日 H22年度町議会研修視察
- 11～15日 ふじのくに3776友好訪中団
- 15日 和紙の明かり展
- 25日より町政懇談会

12月議会の日程

○本会議初日 12月9日(木)

○本会議最終日 12月17日(金)

開会はいずれも午前9時～です。一般質問は17日に行う予定です。ぜひ傍聴にお越しください

編集委員

(第二常任委員会)

委員長 中田隆幸
副委員長 小藪侃一郎
委員 高畑雅一
原田全修
太田侑孝
中野暉

今年、春から異常とも言える気象条件に見舞われました。春先の凍霜害、夏の35℃を越す日照り等により、農作物に大きな被害がみられました。人間社会だけでなく山の動物にも影響を与え、里の農作物を荒らすなど、私ども山間地に住む者にとっては、二重、三重に苦勞の多い年になりました。幸いにも台風など豪雨被害は少なく、安堵しました。秋の紅葉前線はこの様な気象条件下でいつもより遅れているようです。今年も残りわずかとなりましたが、お身体に気を付けてお過ごしください。

(K・K)

編集後記